

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスひまわり菊川西校重心				公表日	令和6年11月29日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	・実態に応じて使うスペースを分けている。 ・学校休業日などは、事務所横のスペースを使い無理の無い支援が出来るようにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・必要な職員数の配置を心がけている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・特別バリアフリーにはなっていないが、職員の努力によって問題なく使用できている。 ・申請中により、仕切りのカーテンや、給湯器など近日中に使用できる予定。	・カーテンなど仕切りがもう少し必要。 ・トイレの改善をしたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・清潔を心がけている。 ・空間的には利用人数によっては難しい事もあるが、利用人数を想定しスムーズに活動が出来る様工夫している。	・基礎的環境整備を徹底したい。 ・利用人数によって子供たちの距離が近いことがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・今年から事務所横のスペースを使えるようにした。 ・音に敏感な子、泣いてしまう子が利用できるスペースを設けた。	・長期休暇のみの使用と限られている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・普段から職員間で話し合っている。 ・職員全体でカンファレンスを行い、意見交換をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートを実施した（R6.10） ・保護者と送り時に連絡を取りその都度改善を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・カンファレンスを行い話し合いをしている。又は、その都度話し合うことがある。	・話し合う機会を増やしたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・今後行っていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ジョブメドレーアカデミーを導入し毎月の研修を行っている。 ・パート職員にも研修できる様機会を設けていきたい。	・常勤職員は出来ているが、パート職員の研修も増やしたい ・研修は多い。資質向上になる研修も進めていきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・カンファレンスや、申し送りなどをし職員同士で話し合い計画を立てている。	・もう少し客観的に分析できると良い。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・1人1人が支援計画書を意識できる様、改善していく。	・計画に沿った支援をしていきたい。 ・全員の認識を一つにしていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			・観察、記録は出来ているので、改善、話し合いを増やしたい。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・話し合いながら活動を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・限られた時間の中で努力している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個々の特性、体調にも考慮し計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・製作時にはなるべく伝えるようにしている。 ・ホワイトボードに担当などわかりやすく記入し、共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・ケースノートなど利用し、出来る限り共有している。 ・学校の先生の話、送った時の保護者の話など共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・ケースノートを作成し毎日記入している。	・記録をしっかりとっているので、検証、改善につなげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・職員全員でモニタリングを行っている。	・細かい検証、見直しをしていく予定。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・利用人数と利用時間で良く組み合わせてできている。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・どの活動でも自己選択を必ずしてもらっている。 ・選択肢を用意し選ぶ事を活動の中に含め製作などを行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・児童発達支援管理責任者、管理者が参画している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○	・会議、研修など参加している。	・研修など参加はしているが、もう少し多く関わってきたいと感じている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・保護者、学校と連携をとりトラブル回避に努めている。	・学校での様子を具体的に知りたい（見学したい）
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・情報の共有をしていきたい。 ・めばえの時のファイルを保護者から見せてもらいコピーをさせてもらっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○	・今後、情報共有をしていきたい。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○	・研修に参加している。	・直接支援している人が参加できると良い。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○	・医療的ケア児もいる為、感染症の事もあり保護者からあまり希望されていないので、今は難しいと考えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	・常勤職員が必ず参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎日の送り時に保護者に伝えている。 ・連絡ノートに記載して伝えている。	

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時、重要事項説明書の説明又は、改正があった場合その都度報告をしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・保護者面談を行い、伝えている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・個々の特性、体調にも考慮し計画を立て保護者からの同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・送り時、保護者と必ず話をする。相談しやすい、話しやすい対応をする様に心がけている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○	・11月に保護者会を開催した。 ・保護者会開催後、改めて保護者同士の交流の重要性を感じ、アンケートなどとり、よりたくさんの保護者が参加できるようにしていきたい。	・保護者会は今後も定期的に行っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情や、不安など無いように連絡ノート、送り時に今日の出来事などを伝えて安心して利用できるようにしている。	・苦情はありません。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・Instagramは月1回更新している。 ・ひまわり通信などをもう少し充実させていきたい。	・情報発信が少ないと感じる。定期的に行っていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報取扱書に署名をいただき同意を得ている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・連絡ノートを活用している。 ・送り時に必ず情報を伝えている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	・医療的ケアの事もあり招待は難しいと考えているが、普段から草取りや、周辺掃除などを行い地域住人と交流し周知している。	
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを再確認し、発生を想定した訓練を行い具体的に詰めていきたい。	・各種マニュアルの改善を進めていく。 ・具体的な訓練を行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・2、3カ月に1回程の間隔で防災訓練を行っている。 ・月1で防災食の確認をしている。	・定期的に防災訓練を行っていく。 ・防災訓練の内容を濃くしていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・契約時、服薬変更時には、必ず確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・指示書はないが、保護者から確認をとっている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			・緊急時対応の訓練も行っていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に伝えているが、再度保護者会などで周知していきたい。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・気になったことは記入して、カンファレンスで話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・社内研修を行い職員で話し合っている。 ・研修機会に職員全体で参加していきたい。	・職員全体での研修を進めていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・安全に過ごすためにベルトが必要な場合は、個別支援計画書に記載し、保護者に説明、了解を得ている。	